

【第3回会議録】安中市役所庁舎・防災拠点センター建設基本計画策定市民会議

開催日時	令和4(2022)年4月15日(金)午後6時30分から午後8時40分まで
開催場所	安中市役所本庁舎2階 第201会議室(安中市安中一丁目23番13号)
出席委員 (敬称略)	北野敦則(会長)、金井昌信(副会長)、杉田琢己、萩原豊彦、堀越敏男、吉田茂、神戸友子、中島勝美、上原徹、新井定雄、金井弘恵、中山伸子、上原将太、瀬下由美子、黛若葉、宮川直子、嶋田有美子(計17人)
欠席委員 (敬称略)	久保智美(計1人)
事務局等	[安中市企画経営部資産活用課庁舎建設室] 町田部長、大溝課長、大野室長、大河原主査、金田主査、野川主事 [株式会社石本建築事務所] 管理技術者ほか計2名
傍聴者	9名
会議次第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 事 ー市役所庁舎の機能・役割をどうするか (1) 報告事項 ・市の検討体制 【資料No:1】 ・執務環境調査報告 【資料No:2】 ・意見交換シートまとめ 【資料No:3、4】 ・小諸市役所庁舎視察まとめ 【資料No:5、6】 (2) 他自治体事例紹介 【資料No:7】 ※市民活動・多世代交流機能の追加事例 ー休 憩ー (3) 庁舎の機能・役割に関する意見交換 ・市民活動・多世代交流機能 ・ほかあったほうが良い機能や施設、役割 4 その他 (1) 次回の会議日程 第4回会議 日時:令和4年5月20日(金)午後6時30分から 会場:安中市役所本庁舎2階 201会議室 (2)その他 5 閉 会

<会議要旨>

1 開会 午後6時30分から開会した。

2 会長挨拶 北野会長より挨拶

- ・会長挨拶の後、新任の杉田委員、堀越委員、新井委員よりご挨拶をいただく。

3 議事

(1) 報告事項

市の検討体制、執務環境調査報告、意見交換シートまとめ、小諸市役所庁舎視察まとめ
[事務局より資料1～6のとおり説明]

(2) 他自治体事例紹介

[石本建築事務所より他事例を紹介]

— 休 憩 — (10分)

(3) 庁舎の機能・役割に関する意見交換

- ・市民活動・多世代交流機能
- ・ほかあったほうが良い機能や施設、役割

[委員意見・質疑応答]

- Q1 会長：小諸市庁舎で設けている勉強スペースは若い人が勉強していて、ほかの市民活動スペースも活用されている印象であった。
- Q2 副会長：小諸市庁舎は狭い敷地に強引に入れているため、自家用車で行ったが駐車場が点在していて見つからない、立体駐車場で車を止めづらく、混んでいた。庁舎への動線もわかりづらい。防災広場は、中途半端に設けると動線を遮ってしまう。起伏等は設けず平らの方が使い勝手がよい。また全国の庁舎に行くが凝った作りになると、市役所への出入口がどこかわからなくなる。災害時利用や平時の市民活動での利用を考えるならば、ただ広いスペースがあればいいと思う。
- Q3 委員：小諸庁舎内にあった売店（ヤマザキショップ）は閉店してしまったとのこと。採算も含めてよく検討しないと無駄なスペースになってしまう。カフェは図書館に併設されているので使う人が多いかと思う。チャレンジショップは商店街の空き店舗でやっているようだった。喫煙所をどうするかなどこの場で具体的な意見もあってよいと思う。
- Q4 委員：小諸市のステラホールの規模のホールが安中にはなく、200人程度の規模のホー

ルがあると使う人が多いのではないか。有効性などをよく検討するべきだが、2階、3階などにあると良いと思う。

Q5 委員：小諸市のステラホールの規模のホールがあるとミニシアターなど多目的で使える。安中にはミニシアターができるところがない。

小諸は病院が併設されているのが良いと思った。病院職員が市とコロナ対応で連携、防災の観点からも良い。安中でも小さなクリニックでも良いと思うので検討すると良い。小諸市庁舎で、手摺の点字が途中でなくなっているところがあった。ハンディキャップをもつ人への配慮は当たり前に行ってほしい。

Q6 会長：今朝、全国初で駅のホームにクリニックを併設する事例がテレビで紹介されていた。庁舎でも隙間時間でクリニックなどを受診できるのも有りかと思った。ステラホールは、映画館のほか、ピアノなど音楽の発表会など様々に使える。駐車場も多いので。

Q7 委員：小諸市庁舎の大庇のデザインは良いが、機能として有効に使われているか疑問である。ベンチが併設されていたが、使われていないよう。あれば良いと思って取り入れた機能と実際のギャップを感じた。税金を使って建てるので需要を考えるべき。市役所で足りないスペースを図書館側で補って、のびのびとした学習環境があるのは良かった。

災害対策本部機能を果たすためのレイアウトの工夫は、当然に行うべきである。

Q8 会長：隣接している病院に売店があるのが市役所側の売店の閉店につながったのかもしれない。安中市役所で必要かどうかは検討。市民が利用できる食堂は、委員の意見としては必要なしとする。小諸市庁舎の内装が少し安価な素材を使用しているように見え、小諸プラザの内装には多少高価な内装を使用しているというギャップが見られたがどういった経緯があったのか。

A 石本：小諸プラザの方は地場産の木材を利用したのでそう感じたのではないか。全体予算に考慮し、市民の方の利用率、滞在時間を考慮して、市の意向とそれぞれの機能に合わせた内装を選定したのかもしれない。

Q9 委員：役所の用事以外に来庁者を滞在させるのか、用事だけを済ませて帰るような施設にするのかの方針を定めた方がよいのではないか。個人としては、役所機能以外は必要ないと考えている。他の機能を利用したければ、その機能がある他の施設を利用すればよい。

会議室の貸出しをするのであれば、予約の仕方などを簡易的にして、市民が利用しやすくしてほしい。

Q10 会長：市としては市民交流スペースが必要と考えているのか。運営はどうする予定か。

A 事務局：基本構想の中では市民交流スペースの記載もあるが、委員のご意見を踏まえ検討していく段階。市として絶対に入りたいという考えではないので、運営方法もこれから検討する段階。

Q11 委員：多世代交流スペースや市民活動スペースを用意するよりは、強いて言えば小諸プ

ラザにあるような 230 席程度の規模のホールがある方が良いのでは。今安中市にないので。

Q12 委員：多世代交流スペースや市民活動スペースをすることで、他の施設が衰退してしまっ
ては元も子もない。役場機能だけあるようなコンパクトな市庁舎が良いのでは。
Wi-Fi 付きの小規模なフリースペースがあると来庁者が隙間時間で使えると思う。
キッチンカーが入れる場所が安中には少ないので、キッチンカーが入れるような広場
は良いと思う。

安中市ならではの要素も取り入れてほしい。例えば安中は梅が有名なので、梅に因んだ
ものがあると良い。小諸市庁舎には梅花の道というものがあつた。

他事例にはたくさん市民活動スペースがあつたが、設計時は始めから市民活動ス
ペースの要求が市からあつたのか。

A 石本：その時々による。コンパクトに役所機能のみとする要望もあれば、せつかく税金を
基に新庁舎を建設するので、住民のために地域活性化できる機能を付ける要望もある。
他の施設との兼ね合いでその地域に少ない機能を求められたりすることもある。

Q13 委員：小諸市庁舎は議会の控室が 1 室しかなかったのは良い。使う頻度が少ない諸室は
コンパクトで良い。

施設を禁煙とするのは当たり前。

現庁舎や保健センター、松井田庁舎の利活用は検討しているのか。

A 事務局：現時点では基本構想に記載のとおり。これから利活用を検討していく。

A 会長：現庁舎の利活用方針があつた上で新しい庁舎に何が必要か考えるのが理想である
と思うが、市は合併特例債のスケジュールの中で動いているようである。この会議で現
庁舎にどういふ機能を残すかの提言をするのは良い。

Q14 委員：人口減少に合わせて、公共施設の総量は維持管理コストがかかるので壊す、売却
するなど少しずつ減らしながらも、使える施設は有効活用しなければならない。

市役所自体が華美になるのではなく、庁舎建設をきっかけに、周辺地域に波及して活性化
につながるような仕掛けができる機能を庁舎で考えられたら良い。

省エネ、環境性能に優れた施設であることも重要。

Q15 委員：小諸市庁舎の庇の下は綺麗なコンクリートだったのでスケートボードをしにくる
人がいると聞く。梅チップを使った柔らかい床材もあるようなので対策に良いのでは。
市役所庁舎の駐車場を立体にするのは不便と思った。最初は高齢者からクレームがあ
つたが慣れたらなくなったそう。有料だが、システム使用料などで赤字と聞いた。

新座市庁舎に行ったが、子どもや高齢者を連れていくことを考えると待ち時間に室内
で滞在できるスペースがありデジタルサイネージなどで情報がとれるのは良い。

庁舎に人が滞留できるスペースがあると公園、スケートボードなどの屋外イベントと
連携して人を集められると良いと思った。

Q16 委員：令和 8 年 3 月末まで建てられれば合併特例債が使えるそうだが、新たに建てる敷

地の地中に遺跡等が出て間に合わなくなったら計画はどうするのか。

A 事務局：遺跡等が出た時でも対応できる期間を見込んでスケジュールを設定している。

Q17 委員：小諸市庁舎は駐車場が混雑していた。住民票を取りに行くだけで不便な思いはしたくない。

新しい庁舎には防災対策本部があれば良く、コンパクトに作ってほしい。防災広場やふれあい機能等は不要で、必要であれば現庁舎の跡地につくれば良いのでは。

A 会長：市庁舎は、前に開催した市民懇談会で、建て替えるのが良いとの意見であった。この会議では、新しい庁舎は災害時の司令塔として陣頭指揮を執る拠点として建設し、防災広場や市民活動等は、現庁舎を利活用してほしいという意見が多かったが、多目的スペースは必要という意見もあったので、新しい庁舎はコンパクトにするために不必要なスペースは設けないが多目的スペースは必要であるという両方の意見を併記する形でまとめた。

市民活動や多世代交流に必要な機能は、高崎など周辺地域のものを利用するのはどうか。安中にあった方が良いのか。

Q18 委員：安中市に住みたいとか市の発展を考えると、他市のを使うのではなく安中に欲しい。

Q19 委員：新しい庁舎が役所機能だけで良いとは思わない。例えば市内の様々な情報が役所に来たついでに見られると良く、情報提供・発信としての機能は必要だと思う。ホームページなどインターネットで情報を収集できないお年寄りもいる。

A 会長：役所には交流スペースはないにしても、広報スペースは必要だと提言する。

(4) その他

- ・事務局より次回は基本計画の素案、配置や規模を提示する予定の旨を連絡。
- ・事務局より会議回数を1回増やし、全5回とすることを提案し、承認された。日程調整は後日行う。

4 その他

(1) 次回以降の会議日程

(2) その他

- ・事務局より意見交換シートの任意提出について説明。

Q20 委員：会議録を早めにほしい。

5 閉 会 午後8時40分に閉会した。